

なかやま

No.24

February 2023

発行日：令和5年2月1日

発行：中山町議会

議会だより



に
おらが町 米の出来高 日本一

10アール当たり 米の出来高日本一

昭和52年、当町は10アール当たりの米生産量656kg（約11俵、1俵＝約60kg）を記録し、全国で第1位になりました。この記録は、農家の方々や関係者の努力の賜物です。

写真は、県内で広く生産されている品種「はえぬき」。

(⇒詳しくはP18へ)



シリーズ
ふるさと
再発見

中山町の名所や行事を子どもたちが描いた「なかやまカルタ」の「米の出来高日本一」の札（中山町青少年育成町民会議・中山町教育委員会）

目次

新年のごあいさつ	2
10月臨時会	3
12月定例会	
令和4年度一般会計補正予算	4・5
私は賛成、私は反対	6
請願と陳情（要望）	7
町政を問う 一般質問	8～11
議会活動報告	12～17
モニターの声	18
なかやま大好き！まち・ひとインタビュー	19
なかやま スポーツ14番勝負！	20

臨時会が開催されました

10月臨時会

オミクロン株対応の ワクチン接種進む

10月31日、令和4年第5回臨時会が開催されました。

はじめに、9月22日に行われた一般会計補正予算（第5号）についての専決処分を承認しました。これは、新型コロナウイルス感染症について、新たにオミクロン株に対応したワクチン接種を速やかに行うため、コールセンター受付業務委託料や個別接種委託料として、国庫支出金を財源とし、3140万3000円を増額したものです。これにより、オミクロン株対応ワクチンの接種を10月1日より開始しています。

次に、一般会計補正予算（第6号）については、主なものとして原油価格、物価高騰等の影響を受けている町内事業者を支援するため、産業持続化支援金（第2弾）として、1事業者当たり10万円を交付するものです。対象は、昨年7月から9月のいずれか1か月の売上等が、過去3か年の同月比で20%以上減少した事業者で、町内100の事業者を見込んでいます。

新型コロナウイルスワクチン接種状況
(令和5年1月6日現在)

回数	接種済数	接種率
1回	9663人	95.2%
2回	9623人	94.8%
3回	8629人*	85.0%
4回	6599人*	—
5回	2983人*	—

*オミクロン株対応ワクチン接種を含む
オミクロン株対応ワクチン接種者数は
5327人 (対象者数*の55.4%)
※対象者数=初回接種(2回)終了者

その議案に私は賛成、私は反対

10月臨時会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊖欠席 ⊕退席

議案番号	議案名と主な内容	議員									議長
		1 佐東幸治	2 須貝勝司	3 須田慎二	4 鈴木徹雄	5 渡辺博文	6 齋藤眞一	7 村山隆	8 欠員	9 佐竹英規	
議第54号	令和4年度中山町一般会計補正予算（第5号）についての専決処分の承認について 歳入歳出予算それぞれ3140万3000円増額し、歳入歳出予算総額を55億792万1000円とする 一般会計予算の補正が急きょ必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
55号	令和4年度中山町一般会計補正予算（第6号）について 歳入歳出予算それぞれ1億665万円増額し、歳入歳出予算総額を56億1457万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*

※注：議長は採決に加わりません。議席番号8番は欠員となります。

令和4年 中山町議会10月臨時会日程表

期日	会議	備考
10月31日(月)	本会議	議第54号～55号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



中山町議会議長
鎌上 徹

町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より議会活動に温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、令和5年が始まりひと月が過ぎました。昨年はロシアによるウクライナ侵攻という衝撃的な出来事があり、多くの尊い命が失われていること、平穏な生活を突然奪われた方々のことを思うと、胸の痛みを思ひます。

この間、日本においては、急激な為替変動の影響や世界的な物価高騰の波が押し寄せ、ガソリンや灯油代、電気代等の光熱水費、その他食品等、多くのものが高騰し、家計に重くのしかかっています。

また、多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の脅威、人口減少、空き家問題など、多くの課題を抱えています。

当町議会は、これら山積する課題の解決に向けて、町執行部と互いに知恵を出し合い、町の発展のため議論を重ね、より身近で開かれた議会運営を目指し、町民の皆さまの負託に応えられるよう誠心誠意努めてまいります。

結びに、町民の皆さまにおかれましては、本年が健やかで幸多い一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年 各議員「新年の抱負」



佐東 幸治 副議長
「好奇心を持ち、自由な発想で時代を捉える。」



須貝 勝司 議員
「いのちと暮らしを守るまちづくりを目指します。」



須田 慎二 議員
「関係人口拡大に力を入れてまいります。」



鈴木 徹雄 議員
「全町民の生活を守り、町の産業発展に頑張ります。」



渡辺 博文 議員
「町民誰もが、他人並に生活出来る町に！」



齋藤 眞一 議員
「心・感謝・情熱・行動を基本に町民の安心安全を確立する。」



村山 隆 議員
「タブレット議会に挑戦する。」



佐竹 英規 議員
「健康が一番。元気でいれば何でもできる。」

新議員が加わりました

中山町議会議員補欠選挙が1月10日に告示され、木村幸広氏が無投票で当選しました。なお、任期は前任者の残任期間となります、令和5年9月30日までです。



木村 幸広 議員
(梅ヶ枝町・61歳)

12月定例会 令和4年度一般会計補正予算(第7号)

12月定例会で第7回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ4321万8000円を増額し、総額で56億5778万9000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

① 電気料金の値上げに対応

各施設管理事業

電気料金の高騰に伴い、今後不足が見込まれる公共施設の光熱水費、計1115万9000円を増額するものです。今回増額する施設は下記のとおりとなります。

増額する公共施設	補正額	補正後の予算額
役場庁舎	132万1000円	552万6000円
長崎小学校	176万1000円	811万5000円
豊田小学校	92万1000円	530万3000円
中山中学校	268万1000円	1629万0000円
学校給食センター	153万0000円	856万6000円
図書館(ほんわ館)	126万4000円	561万6000円
なかやま保育園	114万5000円	657万8000円
斎場	32万3000円	224万3000円
防災(屋外拡声子局)	15万3000円	69万7000円
放課後児童クラブ	6万0000円	140万7000円
計	1115万9000円	6034万1000円



積極的な節電を

トピックス

③ 補助金の申請はインターネットで

水田営農振興事業



オンラインでの申請ができるようになります

現在、紙面で行われている、転作に関する交付金などの各種申請をオンラインでできるよう、農業再生協議会において農林水産省共通申請システムを導入するため、県の経営所得安定対策等推進事業費補助金を活用し、176万9000円を増額するものです。

トピックス

④ あたたかい支援

心身障がい者福祉費・老人福祉費

原油価格・物価高騰に伴う、社会福祉施設における光熱費や車両燃料代、食材費などの経費の増加に対し、支援給付金を交付するものです。

町内の障がい福祉サービス事業所に合計100万円、また、介護サービス事業所に合計350万円を町独自に助成をすることで、経営の圧迫による利用者へのサービス低下を防ぎ、安定的な事業継続を図るものです。



12月定例会 令和4年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算にそれぞれ607万1000円を増額し、総額で56億6386万円とするものです。

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定と山形県人事委員会勧告に基づく山形県職員の給与改定を踏まえ、当町の一般職および特別職の給与改定を行うほか、その他必要な調整等を行うものです。

令和4年 中山町議会12月定例会日程表

期 日	会 議	備 考
12月7日(水)	本会議 (全員協議会) (柏倉家住宅保存・利活用特別委員会)	一般質問
12月8日(木)	休 会	議案調査
12月9日(金)	本会議 (全員協議会) (治山・治水特別委員会) (議員懇談会)	議第56号~68号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決

トピックス

② 迅速な対応を望む

消防事務委託事業



町民の生命を守る救急車

令和4年度の山形市への消防事務委託料の決定および令和3年度の精算により、当初予算額との差額1427万6000円を増額するものです。

令和4年度の委託料の決定については、人件費の確定に伴い当初予算額1億8921万5000円に対して決定額が1億9014万6951円となり、93万1951円増額となったものです。

年次	火災の発生状況	救急車の出動状況
令和2年	1	349
令和3年	3	328
令和4年	(2)	(301)

令和3年度の委託料の精算については、1市2町(山形市、山辺町、中山町)の負担割合が確定し、当町は0.47ポイントの増加となりました。これは、人件費の増加や火災・救急出動件数の増加、山形市の消防施設の修繕・工事の増加などにより、当初予算時委託料1億7505万1549円に対して1334万3987円増額したものです。

※1月~12月の統計
※令和4年は1月~10月末

12月定例会に陳情2件、要望書2件が提出されました。

陳情

沖縄戦戦没者の遺骨収集を推進し、その尊厳を守ることを求める意見書の提出を求める陳情

受理年月日：令和4年11月18日

陳情者：沖縄戦の「戦争」から学ぶ会 代表 漆山 ひとみ

【陳情項目】沖縄戦戦没者の遺骨収集を推進し、その尊厳を守ること。

陳情

安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出に関する陳情書

受理年月日：令和4年11月21日

陳情者：山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁

【陳情項目】安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、すべてのケア労働者の処遇改善を実施すること。ほか2点。

要望

令和5年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

受理年月日：令和4年8月30日

要望者：公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

【要望項目】理科教育設備整備費等補助金事業への積極的な取り組みのお願い。ほか3点。

要望

令和4年度建設振興策に関する要望書

受理年月日：令和4年10月6日

要望者：一般社団法人 山形県建設業協会 会長 國井 仁

【要望項目】公共事業予算の安定確保による豊かで安全・安心な県土づくり。ほか3点。

みんなの議会 傍聴しませんか お気軽にお越しください。

次回の定例会は 3月1日(水)～10日(金) の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

その議案に私は賛成、私は反対

12月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊕欠席 ⊖退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		佐東 幸治	須貝 勝司	多田 慎二	鈴木 徹雄	渡辺 博文	斎藤 眞一	村山 隆	欠員	佐竹 英規	鎌上 徹
議第56号	令和4年度中山町一般会計補正予算(第7号)について 歳入歳出予算それぞれ4321万8000円増額し、歳入歳出予算総額を56億5778万9000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
57号	令和4年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ175万1000円増額し、歳入歳出予算総額を12億605万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
58号	令和4年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ138万5000円増額し、歳入歳出予算総額を1億6159万9000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
59号	令和4年度中山町介護保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算の総額をそれぞれ変更せず、歳入歳出予算総額を13億6496万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
60号	中山町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 地方公務員法の一部改正を踏まえ、職員の定年を引き上げるとともに、管理監督職務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制を導入するほか、所要の改正及び規定の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
61号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について 地方公務員法の一部改正を踏まえ、職員の定年を引き上げること等に伴い、関係する条例の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
62号	中山町町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の指定管理者の指定について 中山町町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の指定管理者を指定するため 指定団体：株式会社中山町振興公社 指定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
63号	令和4年度中山町一般会計補正予算(第8号)について 歳入歳出予算それぞれ607万1000円増額し、歳入歳出予算総額を56億6386万円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
64号	令和4年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ26万1000円増額し、歳入歳出予算総額を12億631万2000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
65号	令和4年度中山町介護保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ26万4000円増額し、歳入歳出予算総額を13億6522万7000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
66号	令和4年度中山町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ18万3000円増額し、歳入歳出予算総額を5億465万9000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
67号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 一般職の職員の給与月額等の改定を行うため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
68号	特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 議会の議員及び町長等に対して支給する期末手当の支給割合を改定するため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*

※注：議長は採決に加わりません。議席番号8番は欠員となります。

一般質問

ここが聞きたい!

町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。
質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

3人の議員が一般質問

12月定例会では、3人の議員が6件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

渡辺 博文 議員 (9ページ)

- 町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の施設見直しについて
- 旧情報物産館「^{まる}〇っと」の利用について

夢田 慎二 議員 (10ページ)

- 町内事業者と連携して観光振興を
- ハザードマップについて

須貝 勝司 議員 (11ページ)

- 災害を最小限に抑えるために
- 被災者支援について



町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の施設見直しについて

問 「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」は、オープンから30年が経過して施設も老朽化し、魅力がなくなってきた。指定管理者は最善の努力をしていると思うが、確実に利用客は減少し、指定管理料だけが増加の一途をたどっている。役場庁舎や中央公民館も老朽化し、移設計画もあると聞くが、普段特定の人しか使わない施設よりも、町民休養交流センターという性格上、町民誰しも休養し、そして交流できる温泉施設ゆ・ら・らの施設更新のほうに優

先されると思うがどう考えるのか。

町長 経年劣化に伴い施設内の修繕必要箇所は年々増加している。現在、これらの修繕や更新については優先順位をつけて実施し、利用者サービスを維持している状況である。もちろん、「町民誰しも休養し、交流できる温泉施設」として、その魅力を向上させることは、町が取り組むべき重要な課題と捉えている。今後にも必要な修繕を計画的に実施しつつ、指定管理者とともに魅力を向上させる施策を模索していく。

問 経済的な面から言えば、中山町に落ちる金額よりも「本社効果」等により町外に流出する額のほうが多い。このままでは中山町はいつこうに豊かになら

ない。ゆ・ら・らを刷新して経済の回復を図ってはどうか。

町長 経済面だけで公共施設を改築する考えは持っていない。

問 防災の面から見た場合、避難所に指定すればいろいろな補助金がある。この観点からどうか。

総務広報課長 現在は救護所として設定している。今後、状況に応じた対応も含め担当課とともに検討していく。

問 遊佐町に町営の温泉宿泊施設「遊楽里」があり、その周辺にも魅力的な施設があると感じている。令和元年度には約3万人の利用者があり、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は約半分の1万6000人と減少したが、令和

3年度にはもう2万人以上まで回復している。一方で、ゆ・ら・らは利用者の減少が続いている。このような成功例を参考に勉強してはどうか。

産業振興課長 遊楽里について、遊佐町の観光

問 令和2年度の事業で「小型高温高圧調理器」を数百万円かけて導入し、造作もし、町民から幅広く利用していただくという理由で事業を開始したが、2年近く経過した現在、頓挫した状態となっている。その理由は。

町長 一般への開放まで至っていない理由について、一つはHACCP(ハサップ)に基づく衛生管理の実施に必要な人材の確保が課



魅力的で経営が良好な遊楽里

題となっていること。もう一つは食品事故時の責任を施設管理者である町が負うこととなり、町の信用失墜につながる恐れがあり、販売加工施設整備が困難なためである。

「私の思い」
言い訳して繕うのではなく、わからないことはわかる人に聞く勇氣を持ってほしい。聞くことは恥ではないのですから。

わたなべ ひろふみ 渡辺 博文 議員



た だ しんじ 議員

町内事業者と連携して 観光振興を

問 周遊ツアー造成等の各種観光事業を行う際に、町内の事業者としっかり連携が取れているのか。また事業者のニーズと合っているのか。

町長 町内事業者との連携は必要不可欠と考えており、旅行企画を行う際は、町内事業者の事業とのタイアップや特産品等の活用を第一に取り入れるよう進めている。

例えば、旧柏倉家住宅への誘客では、周辺で活動する団体・事業者へ事前に予定事業などの情報提供を行うと

ともに、企画の提案をいただく機会を設け、皆さまのご協力のもと、黒堀が連なる街並みを観光資源として一体的に推し進めている。

問 今後、「北前も煮」をふるさと納税の返礼品にする予定はあるのか。

産業振興課長 返礼品には、材料の産地などの条件があるが、合致するようであれば検討していく。

問 棒だらを使った『北前も煮』を開発しているが、今後の展開はどう考えているのか。



「まつしま産業まつり」でも販売されました

町長 「北前も煮」は元祖芋煮会in中山でお披露目をした。現在、テスト販売期間としてゆ・ららで常時販売しているほか、外部イベントでの販売を行っている。今後は、芋煮会発祥の地を代表する特産品となるように進めていく予定である。

問 特産品等開発支援事業費補助金についてはどうなっているのか。

産業振興課長 昨年度から予算化しているが、食品加工施設の活用を前提としていたため実施できなかった。今年度は食品加工施設の活用に限らず補助できる

町長 現在のハザードマップには、石子沢川や新堀川、不動沢川が反映されていない。県において石子沢川の浸水想定区域図は作成済みだが、新堀川、不動

私の思い ハザードマップは、災害リスクを視覚的に把握できるので、内水氾濫用もぜひ作ってほしい。

災害を最小限に 抑えるために

問 令和2年12月定例会において、「洪水対策」について質問したが、その後の経過等について改めて伺う。

町長 現在、中山町森林経営管理制度実施方針を策定しており、今年度は金沢・柳沢地区の森林所有者へ意向調査を行い、来年度は森

※森林経営管理制度とは、森林所有者へ森林経営意向を確認し、希望すれば町に管理委託できる制度のこと。財源は、国から交付される森林環境譲与税となる。

林調査、再来年度には間伐等を実施する計画である。また、他地区についても、順次、意向調査を行っていく予定である。

問 森林経営管理制度は、森林所有者との協議を経て、理解をいたしながら確実に進めべきだと思いが、どのように考えているのか。

産業振興課長 この制度が実施され町内の民有林に適切に人間の手が入ることに、保水力が上がり、災害に強い森林になることが期待されるため、着実に進めていきたいと考えている。

問 遊水地の確保については、西山地区のため池等に洪水調整機能を持たせることが効果的と考える。行政視察で訪れた佐賀県大町町では、町内に18か所あるため池を灌漑用から洪水調節用へと転換するための改修等が進められていた。一定の水量を溜め、下流への流量の軽減を図るために有効と考えるが、取り組む考えはあるのか。

町長 国・県とともに研究し、また、ため池管理者の意見も聞きながら検討していく。

問 田んぼダムについては、令和3年度から取り組み、現在も継続して事業を行っているが、その進捗と効果をどのように考えているのか。

町長 町内全体で約440ヘクタールの

被災者支援について

面積に対し配付した約1700枚の調整板は、現在約67%まで設置が進んでいる。また、今年度は総合的な効果検証を行い、来年度以降の取り組みに活かしていく。



田んぼダムの効果検証のため水位計を設置

問 大町町では、令和元年の大規模な冠水被害の教訓を活かし、被災世帯に対する水道料金の免除や支援相談窓口の一本化など、被災者に寄り添った支援を行っていた。当町においても、こういった対策や支援を平時にこそ検討すべきと思うが、その考えはあるのか。

町長 さまざまな分野における被災者支援について、水道料金に対する支援も含め、先進事例などを参考に今後

私の思い

町民に寄り添い、きめ細やかな情報提供や支援を行うことが必要だと考えます。そういった対応が、住み続けたいまち、につながっていくと思えます。

ように要綱を作成しているので、でき次第、周知していきたいと考えている。

ハザードマップについて

問 平成30年10月にハザードマップが作成されたが、町では大雨による最上川の水位上昇により、石子沢川排水機場のポンプが停止されることに加え、内水氾濫の危険性が高くなっているように感じている。

このようなことを踏まえ、今後、現在のハザードマップを見直す予定はあるのか。また、内水氾濫用のハザードマップも必要なのではないか。

町長 現在のハザードマップには、石子沢川や新堀川、不動沢川が反映されていない。県において石子沢川の浸水想定区域図は作成済みだが、新堀川、不動

議会活動報告

中山町議会議員行政視察研修報告

11月14日から16日まで、中山町議会議員行政視察研修が行われました。研修先は佐賀県の基山町と大町町の2か所です。以下、研修の詳細について報告します。

総務文教常任委員会

内水対策の取り組みについて【佐賀県大町町】

大町町は佐賀県のほぼ中央部に位置し、面積は11.5km²と県内で一番小さく、町の北部は山麓地帯、中・南部は市街地と平野があり、そこを有明海に注ぐ六角川が蛇行しています。

令和元年および令和3年には、線状降水帯の発生等による大雨の影響で主に町の南部が大きな冠水被害を受けました。特に令和3年においては、降り始めから8日間での総雨量が1035mmと記録的な大雨となり、町中心部では、床上浸水248戸、床下浸水92戸、浸水車両200台という甚大な被害となりました。



令和3年大雨による被害状況

●令和元年大雨からの大町町の対策と対応

①組織見直し	・町の災害対策本部組織の見直し ・運営マニュアルの作成（避難所運営、廃棄物処理、義援金等）
②情報発信	・ハザードマップの更新・防災ラジオの各戸配付 ・公式LINEによる情報発信
③支援体制	・CSO連携 ・地域おこし協力隊の採用 ・災害協定の締結

令和元年の大雨被害の後、大町町では、その対策と対応を強化すべく、ソフト面（上記表）とハード面（下記表）の整備を進めました。その結果、令和3年の大雨被害は前回は上回る規模となったものの、冷静に対応できたというお話を伺いました。特に被災者支援については、庁舎内にワンストップ窓口を設置し、各課総出の対応により大きな混乱もなくスムーズに対処できたとのことでした。

災害を未然に防ぐことは難しいですが、準備をすることは必要です。大町町では、国・県・町の役割を明確に位置づけ公表しています。内容は以下のとおりとなります。

国の取組	① 六角川の大規模河道掘削 ③ 六角川遊水地の整備、引堤	② 排水機場の増強、洪水調整施設の整備
県の取組	① 内水監視カメラ・センサー等の設置 ③ ため池洪水調節施設整備 ⑤ 排水ポンプ車導入	② 農業機械の避難、農機具等の保険加入促進 ④ 田んぼダムの推進 ⑥ 排水機場のポンプ増設、排水機場新設
町の取組	① 排水機場への避難用ボート設置、ボート操作訓練 ③ 避難所等の充実（エアコン設置、ペット避難施設設置） ⑤ 逃げ遅れゼロに向けた情報発信システム等の整備 ⑥ ため池洪水調節施設整備、ため池の既存施設の有効活用 ⑦ クリークを活用した雨水貯留容量の確保、主要水路の浚渫 ⑧ 排水機場の耐水化対策、移動式排水ポンプ導入	② 農業機械の避難 ④ 災害支援拠点「ソレイユ」の整備

山形県内で面積が一番小さく、石子沢川の内水対策の課題を抱える中山町。規模の大小はあるものの大町町と共通の課題があり、大いに考えさせられる研修となりました。特に、国・県・町の対策・対応を明確に区分し、それぞれが責任を持って対応に当たる、その体制づくりが急がれると感じました。

厚生産業常任委員会

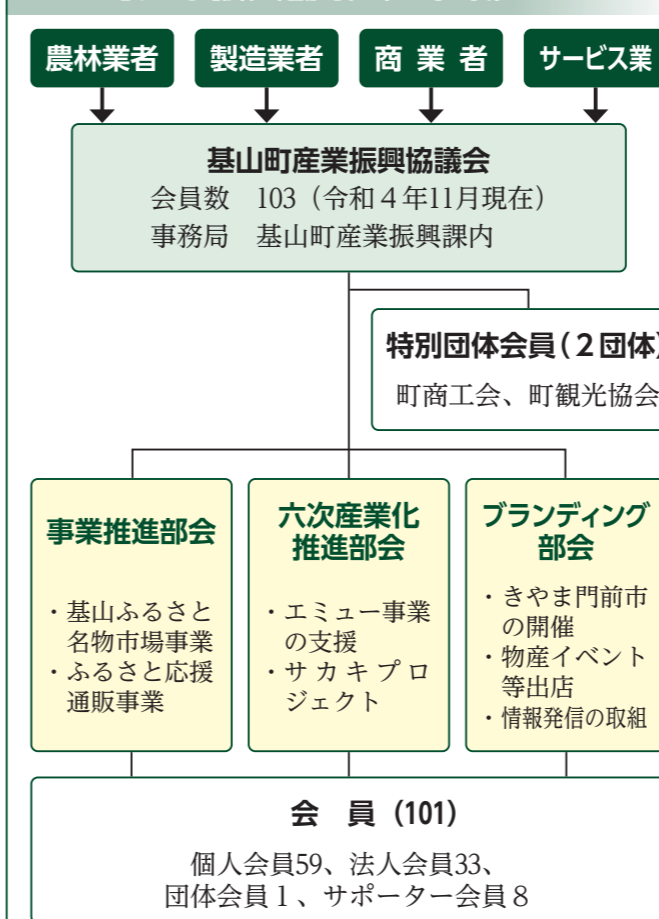
産業振興協議会の取り組みについて【佐賀県基山町】

基山町は、佐賀県の東端に位置し、福岡県筑紫野市、小郡市に隣接しており、佐賀県の東の玄関口となっています。古くから古代官道や長崎街道など主要道路が町を通り、現在でも国道3号、JR鹿児島本線、九州自動車道が縦走するなど、交通の要衝として発展してきました。

基山町では、農業・商工業・サービス業など、オール基山で連携を図り、基山町の産業振興と地域ブランドの確立を目指すため「基山町産業振興協議会」を設立しています。

内容は以下のとおりとなります。

基山町産業振興協議会 組織図

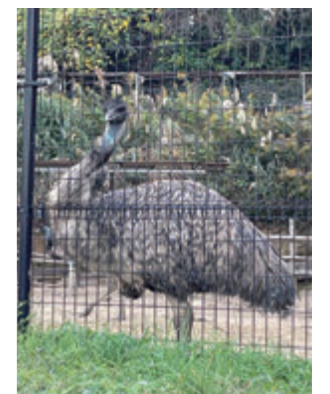


【事業推進部会】

- ・基山ふるさと名物市場事業
九州自動車道基山PA（上り線）に、「基山ふるさと名物市場」を設け、基山町の特産品等を販売します。
- ・ふるさと応援通販事業
基山町内の事業者が連携し、安価で参加しやすい通販システムで基山町の特産品などの販路拡大を行います。

【六次産業化推進部会】

- ・エミューの肉や脂を使用した商品や、神事に使用する榊（さかき）の植栽と販売など、基山町の農畜産物を使用した特産品の開発や販路拡大による六次産業化の推進を図り、基山町のブランドの確立に取り組みます。



飼育の経費が少ないことや商品活用の幅広さから「エミュー」を選択

【ブランディング部会】

- ・物産展・イベントなどを通して、基山ブランド商品の情報発信を行い、顧客拡大を図る取り組みです。

基山町では、産業の活性化や人口減少対策として、基山町産業振興協議会を設立し、官民が一体となって町を盛り立て、交通の要衝という地域性を活かした事業展開が行われていました。

当町においても、官民が一つの方向を向いて協力体制を整えることで、より良い「まちづくり」ができる可能性を感じました。

議会活動報告

石子沢川の特定期都市河川指定に向けてスタート

治山・治水特別委員会報告（委員長：佐東幸治）

12月9日、治山・治水特別委員会が開催されました。

町では、令和2年7月豪雨における内水被害の状況等を踏まえ、石子沢川流域の治水対策について、国・県・町が連携して検討を行うため、「石子沢川流域治水勉強会」を立ち上げています。このたび、その勉強会におけるこれまでの経過と今後の取り組み・スケジュール（案）について報告がありました。

1 これまでの経過

令和3年12月13日	第1回勉強会	「平成18年石子沢川総合治水対策実施状況」、「最上川流域治水プロジェクト」、「石子沢川流域の特徴・被害形態」から新たな取り組みによる石子沢川流域の治水安全度向上を目標に勉強会を設置
令和4年3月15日	第2回勉強会	取り組み状況の確認、流域治水の各種制度、事例紹介
令和4年8月29日	第3回勉強会	中山町における流域治水上の課題について、特定期都市河川制度の紹介
令和4年10月27日	先進地視察	福島県須賀川市、郡山市にて、特定期都市河川指定に向けた視察阿武隈川と、その支流である釈迦堂川・逢瀬川・谷田川における流域水害対策検討会について説明・意見交換
令和4年12月9日	治山・治水特別委員会	石子沢川流域治水勉強会の経過を議会へ報告
令和4年12月21日	第4回勉強会	資料整理と研修会準備
令和5年2月(予定)	研修会	特定期都市河川制度に関する研修会

2 今後の取り組み

気候変動の影響による降雨量の増加を勘案し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」等による最上川本川の河道掘削や遊水地整備による水位の低下を図る施策のほか、今後は石子沢川流域からの流出抑制や貯留機能の向上など、関係機関が一体となった水害対策を一層促進するため、同流域の「**特定期都市河川の指定**（大臣指定）」を経て、国・県・町が協働して浸水被害の防止を図る対策に関する「流域水害対策計画」の策定を目指し、安全なまちづくりを進めていく予定です。

※**特定期都市河川の指定**とは、流域において著しい浸水被害が発生、また、そのおそれがある河川に対し、一級河川の場合、国土交通大臣が指定し、国・流域自治体・企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む体制を整える手続きのこと。

3 スケジュール（案）

令和5年度上期	石子沢川流域水害対策検討会設立
令和5年度末	石子沢川流域 特定期都市河川指定
令和6年度上期	石子沢川流域水害対策協議会設立
令和6年度末	石子沢川流域水害対策計画策定



石子沢川流域治水を全体的に考え、特定期都市河川の指定を目指します
出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>)

来年度は平日の団体見学受入れを検討

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告（委員長：佐竹英規）

12月7日、第26回柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催されました。

報告された主な内容は以下のとおりです。

1 令和4年度の入館者数について

今年度の入館者数については、11月末現在、九左衛門家が1,420人（前年同時期比226人増）、惣右衛門家が319人（前年同時期比78人増）で、増加傾向にあることが報告されました。また、11月3日に行われた町民無料公開日には、町民30人（中学生以下4人）の入館があり、引き続き町民優遇制度を検討していくとのこと。さらに、平日に来館したいという団体見学の受入れ要望や、自治体等からの行政視察の問い合わせが増えていることから、来年度は平日（月2回程度）の団体見学の受入れについても検討していることが示されました。

2 旧柏倉家住宅保存活用計画策定の進捗状況について

現在作成中の保存活用計画について文化庁調査官の事前ヒアリングを受けたところ、引き続き調査および作成を進めて年度内に計画書を完成させるよう助言・指導があったため、11月下旬に計画書を文化庁へ提出するスケジュールを変更し、素案追加および精査、柏倉家住宅保存活用会議の開催を経て、3月中に文化庁へ提出することが説明されました。

3 修繕計画等について

修繕事業の財源確保のために実施している、ガバメントクラウドファンディングの状況が報告されました。実施期間12月13日までの目標金額350万円に対し、12月7日現在で109万9000円（町内10件、県内26件、県外20件）の寄附がありました。いただいた寄附金は避雷針ワイヤー修繕、敷地内板塀の修繕に充てられたほか、3月ごろに実施予定の主屋茅葺屋根の一部葺き替えに充てることが説明されました。



寄附金を活用し修繕された敷地内板塀



受付終了(12/13)までに300万円を超える寄附がありました
(出典：ふるさとチョイス)

4 令和5年度旧柏倉家住宅関係事業の実施方針について

主な変更点として、公開事業については、観光需要の高まり等により入館者数が増加傾向にあることから、スタッフの資質を高め、受入れ態勢を強化するために公開業務の中にガイド業務を含めること、平日の団体見学の受入れ、季節感を出した展示企画に取り組んでいくことが説明されました。

修繕事業については、「旧柏倉家住宅保存活用計画」の方針・基準に基づき適時修繕していくこと、文化庁や文化財建造物保存技術協会に当面必要となる修理等について指導・助言を仰ぐこととなります。また、九左衛門家東側外塀門と惣右衛門家の雨漏り修繕を予定していることが説明されました。

議会活動報告

中山・山辺両町に関わる共通課題を学ぶ

中山町・山辺町両町議会議員協議会報告

12月16日、中山町・山辺町両町議会議員協議会が開催され、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所より、両町の共通課題となる事業等について説明がありました。

内容は以下のとおりです。

- 開催場所 山辺町役場3階 大会議室
- 研修内容 ○一般国道112号山形・中山道路計画状況について
○一級河川須川（山辺中山間）の治水対策について

今回は、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所より2名の担当者を迎え、詳しい説明を受けました。

国道112号山形・中山道路については、現時点で決定している部分の進捗状況と、今後の予定の説明があり、須川については、「最上川水系の流域治水と須川の治水対策について」のテーマで、現在進行している工事の進捗状況と、今後進めていくべき流域治水についてのお話を伺いました。

近年は、豪雨被害が毎年のように発生し、町民の皆さんの流域治水への関心も高くなっています。私たち議員も治水対策が早期に進むよう、関係機関に対して要望活動などを行ってまいります。

今回の研修を受け、交通の利便性と町民の安全・安心を確保するために、今後の議会活動に生かしていきたいと思っております。



両町に関する話題に議員も集中

水道事業収益減収も、経費削減により増益

最上川中部水道企業団議会報告

10月11日、最上川中部水道企業団議会定例会が開催され、令和3年度の事業会計利益の処分および決算の認定について審議され、原案のとおり承認されました。（詳細は下表のとおり）

水道事業収益	6億6680万9469円	資本的収入	3609万5000円
水道事業費用	5億3723万8978円	資本的支出	2億1424万7062円
当年度純利益	1億2957万491円	不足額	1億7815万2062円 (損益勘定留保資金等で補てん)

その後、消火栓設置に伴う水道事業収益および費用の増額などの令和4年度事業会計補正予算（第1号）について、内容の説明、質疑、討論、採決が行われ、原案のとおり可決されました。

定例会終了後に全員協議会が開催され、山形市上下水道部との連絡管運用については、連絡管を使用した常時給水の検討を行った結果、常時給水はせず、当初の目的どおり緊急時の応急給水の運用とすることが報告されました。

また、12月13日に臨時会が開催され、燃料費の高騰や職員給与費の増額などによる水道事業費用1346万円の増額など、令和4年度事業会計補正予算（第2号）について、内容の説明、質疑、討論、採決が行われ、原案のとおり可決されました。

男女共同参画の地域づくり「もはや昭和ではない」

村山地方町村議会議長会 議員合同研修会

12月20日、村山地方町村議会議長会主催による令和4年度議員合同研修会が行われ、村山地方7町の議員が出席し、男女共同参画をテーマに以下の内容で講演が行われました。

- 開催場所 朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館ホール
- 講演 「男女共同参画の地域づくり」独立行政法人国立女性教育会館 理事長 萩原なつ子氏
東京都豊島区の「としまF1会議」の例では、これまで政策形成過程に参画する機会が少なかった女性の視点を可視化し、女性が持つ経験に基づく視点から、ユニバーサルなまちづくりを社会に提言したことに意義があったそうです。



歌を交えながらのユーモアあふれた講演

これからの時代は女性の意見を積極的に取り入れることが重要で、現在の行政会議や地区役員等は、まだまだ圧倒的に男性が多く、女性の考え方が反映されにくい現状だとし、これは人権問題でもあり、SDGs等を進めていくためにも、意識を「昭和から令和に」変化させていくことが必要だというお話がありました。

今回の研修を受け、私たち議会としても女性が参画しやすい環境をこれまで以上に作っていくことが必要であると感じました。

ハラスメントで声を閉ざすな

山形県町村議会議員研修会

10月24日、令和4年度山形県町村議会議員研修会が、山形市のビッグウイングで開催されました。県内の町村議会議員約200名が出席し、以下の内容で講演が行われました。

- ①演題 「政治分野におけるハラスメント防止について」
上智大学法学部教授 三浦 まり 氏
- ②演題 「逆参勤交代が創る山形の未来」
三菱総合研究所主席研究員 松田 智生 氏

講演のなかで、女性の政治参画への障壁等に関する調査において、地方議員を対象に政治参画を拒む要因を調査した結果、議員活動や選挙活動中に有権者や議員などからハラスメントを受けたかという質問に対して、全体の42.3%（男性32.5%、女性57.6%）がハラスメント行為を受けたと回答しているとのお話がありました。また、議員間のハラスメントとしては心理的ハラスメントが多いようで、自信を失ったり、立候補を取りやめるなど、その影響は深刻であるとのことでした。

ハラスメントは幅広く存在し、時代や捉え方によって大きく違ってくる難しい問題だと改めて感じました。議会においても、自らが問題を起こさないのはもちろんのこと、十分に問題意識を持ち日常的に注意していくことが重要と認識しました。



真剣に聞き入る各議員



普段は日本語で保育補助をしています (なかやま保育園)

初めて中山町に来たときの印象はどうでしたか？
名和さん 静かな町という印象を持ちました。日本と言えば京都のお寺であったり、東京、大阪のイメージがあったので、はじめはそう感じました。実際に住んでみると、四季があること

これまで中山町でどのような活動を行ってきましたか？ また、現在の活動もお聞かせください。
名和さん 中山町のプロモーションビデオ撮影に参加したり、紅花まつりの際に着物を着てPRを行ったりしました。また現在は、なかやま保育園で保育補助

今後の目標を教えてください。
名和さん 自分の家を建て



一人ひとりでいねいに教えます。英会話教室「大人もしゃべらnight!」

て、そこで英会話教室をやりたいです。また、いろんなコミュニケーションの場をつくって、着物の着付けなど、日本の文化を多くの人に伝えていきたいです。ルーマニアから家族や友人を呼んで芋煮を食べたり、中山町の文化を見せたり教えたりすることも楽しみにしています。

「ニッポン大好き」は織田信長です

No.17

まち・ひとインタビュー

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内外で活躍する元気な「若者」にインタビュー。第17回は、なかやま保育園で保育補助員として働く、名和アナ・マリアさんです。

日本に移住した経緯をお聞かせください。

名和さん 私はもともと着物やアニメなど、日本の文化が大好きで(特に戦国武将の織田信長)、ルーマニアの大学では日本語と英語を学んでいました。そのときに仕事でルーマニアに来ていた中山町出身の夫と出会い、結婚を機に中山町に移住しました(現在は寒河江市在住)。

山形の好きな場所はありませんか？

名和さん 羽黒山や銀山温泉、山寺が好きです。特に山寺は高い場所から見ると自然の風景がきれいで、個人的には京都の清水寺よりも山寺のほかに魅力を感じます。

中山町の魅力アップのために必要なことは何だと思えますか？

名和さん 芋煮会発祥の地や歴史を感じさせる旧柏倉家、ひなまつり、紅花まつりなどをもっとPRすればいいと思います。あとは、子どもたちが自分から行きたくなるような公園や施設、それから写真映えるイルミネーションなどがあるといいですね。

プロフィール



なわ **名和アナ・マリアさん** (31歳)

ルーマニアのクルジュナポカ出身

結婚を機に2016年、日本に移住。現在はなかやま保育園で保育補助員として勤務。好きなものはワインと納豆餅。

や山に囲まれているところが故郷のルーマニアと似ていて、個人的に住みやすいと感じました。また、せせらぎ公園や旧柏倉家のひなまつりなど、好きな場所も見つかりました。

広報モニターの声



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。

第23号から



- 表紙について、絵札がもっと大きいと迫力ある表紙になると思います。
- 監査の結果報告が掲載されていますが、大変重要なことですので、大きく掲載してください。また、指摘に対する回答も掲載願います。
- 令和3年度決算チェックについては、予算が何に使われ、適正に使われているか、見やすくわかりやすい。
- 説明の文章が長く、読みづらさを感じる箇所があります。
- 「町長へ申入書を提出」の内容が詳細に掲載されていて、これは町民が知りたいことでした。目に留まって読んだ方が多かったのではないのでしょうか。
- 議会だよりの重要性を改めて知らせてくれた第23号だったのではないのでしょうか。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。



連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp

シリーズ ふるさと再発見

今号の表紙 輝かしい記録 日本一

昭和52年、中山町では10アール当たりの米出来高656kgという記録を作りました。これは毎年全国的に行われる農政局統計事務所の調査結果によるもので、この記録は同年における全国1位という輝かしいものでした。

この結果は、町の農家の方々が指導機関の指導を誠実に実行し、さらに、熱心に研究・努力したことによるもので、特に、達磨寺・三軒屋・落合地区での生産量が多かったようです。

近年では、全国的には青森県つがる市(10アール当たり681kg)に次いで、中山町は第2位(678kg)の生産量となっており、山形県内では第1位を記録しています。

これからも、おいしくて良質なお米がたくさん生産できるように、農家や関係機関の方々は日々努力しています。



機械化が進み国内の米の生産性が向上しても、中山町は全国第2位を記録しています

表紙シリーズ「ふるさと再発見!」では、地元の人しか知らない、知っているけれど見たことがない、そんな風景・造形・自然などを紹介しています。地域の隠れた魅力、自慢の風景など、紹介したい場所や物がある方は、町議会事務局(☎023-662-4370)まで、お気軽にご連絡ください。

速報 4年連続表彰!!

「なかやま議会だよりNo.19」が、第28回山形県町村議会広報コンクールで入選しました。詳細は次号でお伝えします。

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

スポーツ 14番勝負!

その7

最終回

なかやま議会だよりの最終ページは、町内の各団体を紹介してきました。

連載シリーズ第1弾「スポ少訪問記」、第2弾「芸術文化探訪記」に続き、第3弾の「スポーツ14番勝負!」も今回で最終回となりました。最後は、「剣道部」と「卓球部」です。

次回からは新シリーズ、乞うご期待!

13番 剣道部

剣道部は、剣道・居合道の2つの部で活動をしています。居合道部で指導されている原田一廣先生は、居合道の最高峰である「範士」の称号を授与されており、県下はもとより全国でご活躍です。その先生のもとに約20名の老若男女が集い、己と向き合いながら修練に励んでいます。剣道部は小・中学生の指導を中心に活動中です。昨年は中学生の頑張りが目立ち、団体戦は県で準優勝、個人では県・東北大会で優勝、県を代表して2名が全国大会に出場するなど大活躍でした。今は小学生の仲間が少ないので、仲間を増やそうと頑張っています。入団募集中!



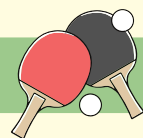
活動場所・曜日:

≪剣道≫月・木曜日…中山中学校体育館 / 土曜日…中山町総合体育館
≪居合道≫水・土・日曜日…中山町総合体育館武道場

代表者: 近松 浩 会員数: 36名(剣道部15名、居合道部21名)
問合せ先: ☎023-676-7949 / 携帯: 090-2279-9547

14番 卓球部

卓球部は独自の活動は行っていませんが、主に中山卓球スポーツ少年団の指導をしています。興味のある方はご連絡ください。よろしくお願いたします。



代表者: 橋本修一 会員数: 8名
問合せ先: ☎023-662-3095

最後に中山町スポーツ協会加盟の14団体をご紹介します。(掲載順)

団 体 名		
① グラウンド・ゴルフ部	② バスケットボール部	③ 空 手 道 部
④ ス キ ー 部	⑤ インディアカ部【イマジン】	⑥ 柔 道 部
⑦ サ ッ カ ー 部	⑧ バドミントン部	⑨ ペ タ ン ク 部
⑩ 野 球 部	⑪ テ ニ ス 部	⑫ バレーボール部
⑬ 剣 道 部	⑭ 卓 球 部	

なかやま議会だよりの

No.24

発行日: 令和5年2月1日

発行: 中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷: 大場印刷株式会社

議会広報常任委員会
委員長 村山 隆
副委員長 佐竹 英規
委員 佐東 幸治
委員 伊田 慎二
委員 鎌上 徹

編集後記
春の訪れを心待ちにしているこの頃、余寒なお厳しい日が続いております。行動制限も緩和され、広報研修会にも参加し、よい「議会だよりの」を目指してはいますが、内容を詰め込み過ぎると読みにくく、「少ない言葉で伝わる広報紙」にすることの難しさを痛感しています。
今後も、議会活動を活性化させ、町民の方々が関心を持てる内容の「議会だよりの」を目指してまいります。
(佐東幸治)